

### 第3学年社会科学学習指導案

#### 1 小単元名 買い物たんてい団 ～さぐれスーパーマーケットのひみつ～

#### 2 指導観

##### こんな子どもだから

○ これまでの学習を通して、弥生校区にある店や会社、交通の様子に興味をもち、進んで学習に取り組むことができるようになってきている。

(関心・意欲・態度)

○ これまでの学習を通して、人々の多くは平地で暮らしていること、それは、交通網の発達により便利な生活が送れることとかかわりがあることを学習してきた。このような学習を通して、自分たちの暮らしを、社会の様子と結びつけて考えることができるようになってきている。

(思考・判断)

○ これまでの学習を通して、写真やグラフ等の資料を読み、学習問題の予想を立てることはできるようになってきている。しかし、予想を確かめるために自分で資料を集めたり選んだりする力は、まだ、十分に育っていない。

(観察・資料活用・表現)

○ 家の人と一緒に買い物をしたりひとりで買い物をしたりする経験はあるが、そのときに、店が行なっている工夫に気付いて買い物をしている子どもは少ない。

(知識・理解)

##### こんな教材で

本小単元は、「地域には販売に関する仕事があり、自分たちの生活を支えていること」「地域の人々の販売に見られる仕事の特色及び国内の他地域等とのかかわり」の2点について見学したり、調査したりして調べ、仕事に携わっている人々の工夫を具体的に考えることをねらいとしている。

ここでは、販売に関する仕事として、校区内にあるA店を取り上げる。A店を取り上げることは、次の点で価値があると考えられる。

- ① A店は、食料品から日用品まで生活に必要なものがそろう店であり、家の人がよく利用している店でもある。また、ほとんどの子どもたちも利用した経験がある。
- ② A店で買い物をする家の人に、気を付けていることを聞いたり、買い物の仕方を見学したりすることができる。
- ③ 身近にあるために、いつでもくり返し調べに行ったり、店の人にインタビューしたりすることができ、意欲的な調べ活動が可能である。
- ④ 店の入り口近くには地場産の作物が置いてあったり、パック詰めされた商品には産地が書いてあったりする。A店の商品を通して、他地域との関連もとらえることができる。

以上のように、A店は、働いている人の姿を身近に何度も見ることができ、疑問に思ったことをすぐ確かめにいくことができる等、子どもたちにとって体験的な学習活動を組むことができる教材であり、さらには、子どもたちが販売者側の工夫と消費者側の願いを関連付けて考え、自分たちの生活を支えている事を考えることが期待できる価値ある教材であると考えられる。

### こんな方法で

#### 【つかむ段階】

買い物調べから学習問題をつくるために、次の手だてをとる。

- 家の方は、どこでどんな物を買っているのか聞き取り調査を行う。
- 調べたことから、他店に比べてA店に客の数が多いことに疑問を持たせる。

#### 学習問題

なぜ、A店はお客さんが多いのだろう。

自分の予想をはっきりさせ、追究の見通しを持たせるために、以下の手だてをとる。

- 自分の経験や家の方の話から、学習問題に対する予想を立てさせる。
- 「A：商品の品ぞろえに工夫があるから」「B：お客さんが買い物をしやすいように工夫がされているから」という2人の児童の予想を提示し、わけの違いに着目させて、自分のものと比べさせる。その際、各自が作った予想カードを用いる。

- 話し合い活動の後、自分の予想とそのわけの修正を行い、調べる内容を決める。

#### 【さぐる段階】

こだわりを持って追究活動ができるように次の手だてをとる。

- 店や客の取材をさせる。
- 調べたことを、絵や写真、グラフ等を使って、自分の資料として表現物にまとめさせる。

#### 【まとめる段階】

学習問題に対する確かな自分の考えを持たせるために、次の手だてをとる。

- 画用紙に学習問題の答えを書いた表現物と、自分が作った資料を使って説明させる。
- 2つの考えを提示し、2つの考えの中にある「販売者側の工夫＝消費者側の願い」を、「いろいろな種類があって自分のほしい物が選べる」「駐車場が広いから車で来やすい」等、客の言葉を通して理解させる。

### こんな子どもへ

- 地域にある商店の中で、A店に客が多いわけについて課題意識をもち、意欲的に調べようとする子ども  
(関心・意欲・態度)

- 地域の商店で販売に携わる人々は、消費者の願いに合わせて、宣伝や値段、陳列の仕方等を工夫していることや、そのことが、消費者だけでなく販売者の利益にもつながっていることを考えることができる子ども  
(思考・判断)

- 地域の商店の見学や販売に携わる人々へのインタビュー等、具体的に観察や調査を行い、画用紙に自分の考えをまとめたり、その根拠を示すために、自分の資料を作ったりすることができる子ども  
(観察・資料活用・表現)

- 地域の商店は、消費者の願いに応えながら利益を上げる工夫をしていることを理解できる子ども
- わたしたちの生活は商品を通して他地域ともつながっていることを理解することができる子ども  
(知識・理解)





4 本時（14 / 15） 交流・評価する活動 3年 組教室において

5 本時目標

- スーパーマーケットで働く人々は、消費者の願いに合わせ、売り上げを高めるための工夫を行っているということを考えることができる。（思考・判断）

6 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、「A：商品の品ぞろえに工夫があるから」と「B：買い物がしやすいように工夫があるから」の二つの考えをもとに、AとBの共通部分に目を向けた話し合い活動を行い、A店に客が多いのは消費者の願いに応えるために店が工夫しているからであることについて、考えることをねらいとしている。

そのために、以下のような手だてをとりながら、学習を進めていきたい。

手立て（1）自分の考えを友だちに伝える表現物づくり

- 前時までには、画用紙に追究活動後の自分の考えとそのわけをまとめさせておく。

A：商品の品ぞろえに工夫があるから		B：買い物がしやすいような工夫があるから	
資料①	時間を決めて、品質チェックをしている。	資料③	カートが2台同時に通ることができる。
資料②	毎週火曜日は安売りをしている。	資料④	車で来てたくさんの物を買うことができる。

- 自分の考えはAとBのどちらなのかがはっきりと分かるよう、考えを書くときに色を分けて書かせる。（A…ピンク、B…水色）
- 考えのわけをキーワードを使って簡潔に表す。
- 友だちが納得できるように、考えのわけを、自分の言葉で順序よく説明できるように考えさせておく。
- 自分の調べたことをまとめた資料を作らせておく。

手立て（2）自分の考えを確かにする話し合い活動

- 学習問題に対する自分の考えとわけについて、表現物を活用して、「A：商品の品ぞろえに工夫があるから」「B：買い物がしやすいような工夫があるから」の2人の代表児童の考えを発表させる。
- A店が行っている工夫について付け加えをしていき、店の工夫がたくさんあることに気付かせていく。
- Aの考えとBの考えの共通することについて考えさせ、どちらも消費者のニーズに応えるための工夫であることに気付かせる。
- 「消費者のニーズに応えるばかりでもうけになるのか」という発問を行い、販売者の工夫は、消費者のためだけではなく、売り上げを高めるためにも行っているということを考えさせる。
- 「今日の学習で」を書く際は、友だちの考えを大切にしながら、自分の考えの深まったところを書かせる。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <p>めあて A店にお客さんが多いのはなぜか話し合い、自分の考えを確かみにしよう。</p> <p>2 学習問題の答えを話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【A: 商品の品ぞろえに工夫があるから】</p> <p>① 新鮮な商品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間を決めて、品質チェックをしている。</li> <li>・とれたての野菜を毎日トラックで運んでいる。</li> </ul> <p>② 安い商品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週火曜日は安売りをしている。</li> <li>・プライベートブランドの商品がある。</li> </ul> <p>だから、A店にはお客さんが多い。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【B: 買い物がしやすいような工夫があるから】</p> <p>① 広い通路</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カートが2台同時に通ることができる。</li> </ul> <p>② 広い駐車場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車で来てたくさんの物を買える。</li> <li>・遠くからも来ることができる。</li> </ul> <p>だから、A店にはお客さんが多い。</p> </div> </div>	<p>○ 前時までの学習をふり返ることができるよう、使用した資料を教室に掲示しておく。</p> <p>○ 自分の考えを友だちに分かりやすく伝えるために、考えをまとめた表現物と、証拠となる資料を作らせておく。</p> <p>○ 自分の考えと比べ、相違点を考えながら、代表児童の話を聞くよう指示する。</p>
<p>(1) 2人の代表児童の考えをもとに話し合う。</p> <p>A店の工夫</p> <p>【A: 商品の品ぞろえに工夫があるから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の種類が豊富。</li> <li>・季節に関する物のコーナーがある。</li> </ul> <p>【B: 買い物がしやすいような工夫があるから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看板がある。</li> <li>・ATMがある。</li> </ul> <p>C</p> <p>客の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一度にいろいろなものが買えるから来る。</li> <li>・駐車場が広く、車で来てたくさん買えるから来る。</li> <li>・新鮮なお肉があるから来る。</li> </ul> <p>↓</p> <p>消費者の願いに応えるための工夫である。</p>	<p>○ 学習問題の答えに迫るために、それぞれの考えに質問したり付け加えたりさせる。さらに、販売者の工夫と消費者の願いを関連付けて考えさせる。</p>
<p>3 学習問題に対する、自分の考えをまとめる。</p> <p>A店にお客さんが多いのは、お客さんのことを考えて、商品の品ぞろえの工夫をしたり、買い物がしやすいような工夫をしたりしているからだ分かった。</p>	
<p>4 「今日の学習で」を書き、話し合いをふり返る。</p> <p>最初は、安い商品があるからA店にはお客さんが多いと思っていたけれど、〇〇さんの発表を聞いて、それだけでなく、買い物がしやすい工夫もお客さんを集める工夫だと分かりました。</p>	<p>○ 友だちの発表を聞いて、考えが付け加わったことについてまとめさせる。</p>

#### 4 本時（7 / 12） 学習を見通す活動 3年 組教室において

#### 5 本時目標

- 学習問題に対する予想について話し合い、なぜ、A店は客が多いのか自分の予想をはっきりさせ、自分がこれから何について調べていくのかを明らかにすることができる。  
(思考・判断)

#### 6 本時指導の考え方

本時指導にあたっては、「なぜA店はお客さんが多いのか」という学習問題について、各自が立てた予想とそのわけを見直し、追究の見通しをもつことをねらいとしている。そのために、以下のような手だてをとりながら学習を進めていきたい。

##### 手立て（1）自分の予想を友だちに伝える表現物づくり

- 話し合い活動では、発表するときに、友だちに自分の予想のわけが分かるような表現物を作成する。

A：商品の品ぞろえに工夫があるから  
わけ

たまごや牛にゅう等、同じ物でもいろいろなしゅるいや大きさがあって、自分がひつような物をえらぶことができるから。

B：お客さんが買い物しやすいように  
工夫がされているから

わけ

買い物カゴをのせるカートがあって、たくさん買い物をしても重くなくて助かるから。

##### 手立て（2）追究の内容・方法を明らかにする話し合い活動

- 代表児童の予想を黒板にはり、「A：商品の品ぞろえの工夫」「B：お客さんが買い物しやすいような工夫」ということが、本時の話し合いの中心になることを意識させる。
- 自分の予想と友だちの予想との共通点に気付かせるために、まず、代表児童と似たわけを発表させる。その後、Aの予想（Bの予想）ではあるけれども、わけは違う児童へと発言を広げていく。
- 自分の予想にこだわりを持たせるために、AからBへ、BからAへの意見を中心とした話し合いの場を設定する。そのために「商品を売るためには、AとBのどちらが大切だろう」と発問をして児童にゆさぶりをかける。そこで、「買い物をする時に一番考えることは、新鮮で安全なものを安く買いたいということだから、絶対にAの予想だと思う」「駐車場がなくても買い物はできるからAだ」や「値段がそこまで変わらなければ、便利で買い物がしやすい所がいいので、絶対にBの予想だと思う」「種類がたくさんあっても閉まっていたら買えないので、遅くまで開いているお店の方がいいからBだ」等の、自分とは違う予想に対して意見を考えさせることで、自分の予想を肯定させる手だてをとる。

7 本時の展開

学習活動と内容	支援				
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p>					
<p>めあて A店にお客さんが多いのはなぜか話し合い、見通しをもとう。</p>	<p>○ 本時の学習に臨む準備として、前時までに自分の予想をまとめた表現物を作らせておく。</p>				
<p>2 学習問題の予想を話し合う。</p>	<p>○ 自分の予想をうまく表現できない児童にも分かりやすいように、代表児童は、理由として具体的(卵や牛乳, カゴ)に説明ができていない児童を選ぶ。</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>A：商品の品ぞろえに工夫があるから</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>B：お客さんが買い物しやすいように工夫がされているから</p> </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> <p>わけ 卵や牛乳など、同じ物でもいろいろな種類や大きさがあるから、自分が必要な物を選ぶことができるから。</p> </td> <td style="padding: 5px;"> <p>わけ 買い物カゴをのせるカートがあつて、たくさん買い物をして重くならなくて助かるから。</p> </td> </tr> </table>	<p>A：商品の品ぞろえに工夫があるから</p>	<p>B：お客さんが買い物しやすいように工夫がされているから</p>	<p>わけ 卵や牛乳など、同じ物でもいろいろな種類や大きさがあるから、自分が必要な物を選ぶことができるから。</p>	<p>わけ 買い物カゴをのせるカートがあつて、たくさん買い物をして重くならなくて助かるから。</p>	<p>○ 考えをつないでいくためにまず、代表児童と似たわけをもつ児童に発言をさせる。</p>
<p>A：商品の品ぞろえに工夫があるから</p>	<p>B：お客さんが買い物しやすいように工夫がされているから</p>				
<p>わけ 卵や牛乳など、同じ物でもいろいろな種類や大きさがあるから、自分が必要な物を選ぶことができるから。</p>	<p>わけ 買い物カゴをのせるカートがあつて、たくさん買い物をして重くならなくて助かるから。</p>				
<p>(1) 2人の代表児童の予想をもとに、付け加えや質問をする。 A○ いつも、新鮮なものが置いてあるから。 ○ タイムサービスや半額のシールをはって、商品を安く売っているから。 B○ 遠くに住んでいる人にも買い物に来てもらいたいので、駐車場を広くしているから。 ○ 買い物のついでにATMを利用できるから。 (2) 2つの予想の違いを話し合う。</p>	<p>○ 児童の思考にゆさぶりをかけるために、「商品を売るためには、AとBのどちらが大切だろう」と、発問を入れる。</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>・買い物をする時に一番考えることは新鮮で安全なものを買いたいということだから、絶対にAの予想だと思う。 ・駐車場がなくても、自転車や歩いて行けるからやっぱり商品のことが大事だと思う。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>・値段がそこまで変わらなければ、便利で買い物がしやすい所がいいので、絶対にBの予想だと思う。 ・商品がたくさんあつても閉まっていたら買えないので遅くまで開いているお店がいい。</p> </td> </tr> </table>	<p>・買い物をする時に一番考えることは新鮮で安全なものを買いたいということだから、絶対にAの予想だと思う。 ・駐車場がなくても、自転車や歩いて行けるからやっぱり商品のことが大事だと思う。</p>	<p>・値段がそこまで変わらなければ、便利で買い物がしやすい所がいいので、絶対にBの予想だと思う。 ・商品がたくさんあつても閉まっていたら買えないので遅くまで開いているお店がいい。</p>	<p>○ 自分の予想にこだわりを持たせるために、友だちの予想との違いを考えさせたり、自分の意見を友だちに伝えたりする。</p>		
<p>・買い物をする時に一番考えることは新鮮で安全なものを買いたいということだから、絶対にAの予想だと思う。 ・駐車場がなくても、自転車や歩いて行けるからやっぱり商品のことが大事だと思う。</p>	<p>・値段がそこまで変わらなければ、便利で買い物がしやすい所がいいので、絶対にBの予想だと思う。 ・商品がたくさんあつても閉まっていたら買えないので遅くまで開いているお店がいい。</p>				
<p>3 学習問題に対する自分の予想を見直す。</p>	<p>○ これから自分が調べていくことを具体的に考えさせるために、自分の予想とそのわけを見直し、変更があれば変更をさせる。</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしは、同じカレー粉でもCの製品があつたりDの製品があつたり、量も大箱があつたり小箱があつたりして、やっぱりお客さんが必要な商品をきちんとそろえているから、A店はお客さんが多いと思いました。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしが買い物に行った時、お年寄りの人がカートを使っているのを見たことがあります。きっと、いろいろな人に来てもらえるように考えてお店の中が工夫されているのだと思います。だから、A店はお客さんが多いと思いました。</p> </td> </tr> </table>	<p>わたしは、同じカレー粉でもCの製品があつたりDの製品があつたり、量も大箱があつたり小箱があつたりして、やっぱりお客さんが必要な商品をきちんとそろえているから、A店はお客さんが多いと思いました。</p>	<p>わたしが買い物に行った時、お年寄りの人がカートを使っているのを見たことがあります。きっと、いろいろな人に来てもらえるように考えてお店の中が工夫されているのだと思います。だから、A店はお客さんが多いと思いました。</p>	<p>○ 自分の考えが増えたことをがんばりとして自己評価させるために、話し合いで自分の変わったところを書かせる。</p>		
<p>わたしは、同じカレー粉でもCの製品があつたりDの製品があつたり、量も大箱があつたり小箱があつたりして、やっぱりお客さんが必要な商品をきちんとそろえているから、A店はお客さんが多いと思いました。</p>	<p>わたしが買い物に行った時、お年寄りの人がカートを使っているのを見たことがあります。きっと、いろいろな人に来てもらえるように考えてお店の中が工夫されているのだと思います。だから、A店はお客さんが多いと思いました。</p>				
<p>4 今日の学習をふり返り、学習の見通しを持つ。</p>	<p>○ 自分の予想を確かめるために、何が分かればよいのかを書かせる。</p>				
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしは、どんな商品が多いのか確かめるために、何がどれくらいあるのか数えま</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>わたしは、通路の広さの工夫を確かめるために、広さはどれだけなのか、どこも同じにしてあるのかをはかって調べま</p> </td> </tr> </table>	<p>わたしは、どんな商品が多いのか確かめるために、何がどれくらいあるのか数えま</p>	<p>わたしは、通路の広さの工夫を確かめるために、広さはどれだけなのか、どこも同じにしてあるのかをはかって調べま</p>			
<p>わたしは、どんな商品が多いのか確かめるために、何がどれくらいあるのか数えま</p>	<p>わたしは、通路の広さの工夫を確かめるために、広さはどれだけなのか、どこも同じにしてあるのかをはかって調べま</p>				